

金沢小学校 体育・健康プラン

学校教育目標

【 創りだせ tomorrow わたしは challenger 】

～自らの思いや願いの実現をめざして、ねばり強く学び続け、心豊かに明日を創りだす子～

- 自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。 (知)
- 自然や人との豊かなかかわりの中で、お互いのよさや違いを認め合える子を育てます。 (徳)
- 健やかな心と体をつくり、自分や人の生命を大切にすることを育てます。 (体)
- “まち”のひと・こと・ものを大切に、共に生きる子を育てます。 (公)
- 社会の変化に関心を持ち、柔軟に対応できる子を育てます。 (開)

児童の実態

- ・新体力テストの結果を見ると8項目中、反復横とび・20mシャトルラン・50m走・ボール投げの4項目で市・全国平均を大きく下回っている。
- ・走る、跳ぶ、投げるといった体力の基礎となるべき運動の経験が少ないと考えられる。遊びの時間・空間・仲間の不足が運動遊びの減少につながっているのではないだろうか。
- ・朝食の摂取率や睡眠時間など、生活リズムは平均的であるが、テレビやテレビゲームをして過ごす時間が多くなっている。
- ・社会体育として、サッカー・バスケットボール・野球・ソフトボール・水泳・剣道・合気道など様々な運動に取り組む児童がいる。

金沢小学校 体育・健康に関する指導の目標・方針

- 生涯スポーツとして、運動に親しもうとする態度の育成
- 運動する楽しさを感じられる心と体 ○基礎体力の向上
- 基本的な生活習慣の確立と健康教育及び食育の充実

めざす子どもの姿

- 体を動かすことが大好きな子
- 友だちとの関わりを大切にする子
- 規則正しい生活を送れる子

<体育科での取組>

- ・体育科では、主題研究会として「できる喜び、わかる楽しさを味わえる体育学習を目指して」という研究テーマとし、運動特性と楽しさを分析し、個に応じた指導のあり方を明らかにするよう取り組んでいく。

<他教科での取組>

- ・家庭科や特活では、食育との関連を図り、食べ物や生活習慣が体や健康に及ぼす影響について学習していく。

<他領域での取組>

- ・スポーツフェスタでは、体育科で培った資質能力を基礎とし、個人競技や団体競技、集団演技を通して運動の楽しさを味わい、自己の体力に関心をもつ。
- ・マラソンフェスタでは、チャレンジすること継続することへの価値に対する態度を身につける。
- ・体育朝会では、健康な生活への関心や運動への関心を高めていく。
- ・長なわ集会など、体育的集会活動では自ら体力を高めていこうとする意欲を引き出していく。
- ・学校保健委員会では「元気の輪を大きくしよう」のテーマのもと、よりよい生活習慣が身に付くように児童が主体的に活動を進め、実践化を図る。

○朝の自由遊び（地域の方々との連携）＊1校1実践運動

- ・自ら体を動かすことができる運動価値の向上を目指して取組を始めた。
- ・家庭・地域の方々との連携で、子どもが安心して外遊びが行える機会の充実を図る。
早寝・早起きの習慣をつけ、生活リズムを安定させる。

○金小さいきスポーツクラブ

- ・サッカー、ラグビー、バスケットボール、マラソンなど様々なスポーツを通して、運動の楽しさや仲間との関わりを経験する場を増やす。そして、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度を育てていく。

○地域の大会に参加 ○近隣校との交流試合の実施

- ・試合を通してさらに運動への意欲を高めていく。